

**生産性向上枠例**

別記第2号の3様式（第5条関係）

事業計画書【生産性向上枠】

1 申請者概要

企業名(団体名・屋号)	株式会社●●●		
法人番号(13桁)※1	●●●●●●●●●●●●●●●●		
業種	<input checked="" type="checkbox"/> 製造業・その他の業種	<input type="checkbox"/> 卸売業	<input type="checkbox"/> 小売業
業種名	菓子製造業		
資本金・出資金	従業員数(会員・構成員数)	設立年月	
●●●●万円	●人(社)	平成●年●月	

個人事業主の場合は「なし」と記載してください。

資本金・出資金：個人事業主の場合は記入不要です。

2 事業計画

(1) 事業名(テーマ) ※2 30文字以内	例：焼成機の導入による省人化
(2) 補助事業の目的	例：手焼きで行っている菓子製造の工程において、焼成機を導入することで省人化を図り、売上増加に向けた営業活動等を行うための人員を確保する。
(3) 現状の課題 (エネルギー・原	<p>①既存事業について (事業内容及びエネルギー・原材料価格高騰の影響等を踏まえた現状) 例：当社は●●町で主に観光客向け煎餅製造を行っているが、観光客数はコロナ前の水準に戻りつつあるものの、原料価格や光熱費の高騰により営業利益は回復しきれていない状況にある。</p> <p>②上記①における課題、補助事業に取り組む背景や理由等 (「省人化・省力化」や「人手不足解消」の観点から記入) 例：営業利益の回復に向けて新たな販路を開拓する必要があるが、2年前にベテラン従業員が退職して以降、求人を行っても応募がなく、人手が足りずに既存の菓子製造を行うだけで精一杯の状況が続いている。また、これまで手焼きであることを当社の商品の強みとしていたが、近年は機械の性能が上がり、手焼きと大差がない商品が製造可能となっている。</p>
(4) 事業内容 (取り組む内容	<p>①事業内容の概要(該当するものすべてに☑)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人に依存する業務プロセスの機械・システムによる代替  <input type="checkbox"/> 既存設備の配置換え等による効率的な生産・提供プロセスの構築  <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>②(3)の課題を踏まえた「新たな」取組の概要 (「省人化・省力化」や「人手不足解消」の観点から、取組のポイント、当事業の実施により何をどのように変えるのか既存事業との違いを明記) 例：現在は全て手作業で煎餅の焼き工程を行っているが、光加熱式の焼成機を導入し、製造工程の必要人員を圧縮。手の空いた職員を営業活動等に注力させることで売上の増加につなげる。また、これまででは全て手焼きで菓子製造を行っており、焼成機を導入して製造工程の省人化を図ることは新たな取組である。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> (4)①～②に記載した取組については、これまで実施していない新たな取組であることを誓約します。

人に依存する業務を機械・システム等で代替する省人化・省力化の内容を簡単に記載してください(採択された場合、県HPにて公表する場合があります)。

事業を行う目的について、記載してください。

・エネルギー・原材料価格高騰による会社経営、既存事業への影響等を踏まえ、今回申請事業(省人化・省力化)に取り組むに至った経緯等について、記載してください。  
 ・省人化・省力化に取り組む必要性があることがわかるように記載してください。

今回取り組む事業(申請事業の内容)について、具体的に記載してください。

③補助事業のために必要な経費と目的・使途等

経費の内容※3 (購入・契約するもの等)	目的・使途 (補助事業を実施する上で計画のどの取組に必要なかを説明)
例：光加熱式焼成機	菓子製造用の焼成機（煎機）
作業場改装工事	焼成機の配置スペースを確保するため作業場を改装

補助事業により取得し、又は効用の増加した上記財産等は補助事業以外の目的に使用しないことを誓約します。

①(3)の課題に対する、補助事業により期待される成果、今後の展開等

例：焼成機の導入により作業の効率化を図ることで、これまでと同量の煎餅をより少ない人員で製造することが可能となる。その結果、手の空いた人員を営業活動・広報活動に注力させることができるようになり、新たな販路の開拓による売上の増加が期待される。また、本事業の実施をきっかけとして、その他の作業工程についても無駄の洗い出し・見直しを行い、将来にわたって営業を継続できるような、より効率的な生産体制を構築していく。

②補助事業の目標

((5)①の成果における定量的な数値目標(※)等を記載)

(※)「省人化・省力化」や「人手不足解消」の観点からの数値目標を必ず記載すること

例：①手作業による菓子製造（現状）に必要な人員 ●人  
 ②焼成機導入後の菓子製造に必要な人員 ●人  
 → ①－②＝●人分の省人化が見込める。

別記第3号様式で補助対象とする経費について、全て列挙し、その目的・使途をそれぞれ記載してください。適宜行を追加してください。

改装工事を行う場合などは、補助事業に関わる改装工事の部分がわかる図面等（工事前後）を添付してください。

(5)補助事業の実施により期待される成果と事業目標等

新たに省人化・省力化に関する取組を進めることにより、どのような成果が見込まれるか(①)、またその見込まれる成果に対する目標(②)及びその後の事業の発展、方向性等(①)について、記載してください。（売上、利益、雇用、作業時間等）

直近の決算月を基準とした年間の売上高について、新事業を始めることにより売上がどう変化するか見込みが記載してください（単月の売上高ではありません。雑収入や家事消費等は含みません）。複数の部門や事業部を有する法人においても、法人全体の売上について記載してください。

目標売上推移 (単位：千円)	R7年8月期 (直近)※4	R8年8月期 (1年目)	R9年8月期 (2年目)	R10年8月期 (3年目)	R11年8月期 (4年目)	R12年8月期 (5年目)
補助事業の実施期間	交付決定日 ～ 令和8年●月●日					
実施スケジュール	年月	実施				
※交付決定のあった年度の12月20日までに支払いを完了する必要があります。	8年8月	作業場の改装工事を実施				
	8月	焼成機の購入、設置				
	8年9月	焼成機による菓子製造開始				

実施期間は令和8年12月20日までの期間としてください。

申請事業に関するスケジュールの概要を記入してください。適宜行を追加してください。

- ※1：法人の場合は、法人の決算書に記載してください。マイナ
- ※2：採択事業の「事業名（テーマ）※30文字以内」は公表します。
- ※3：第3号様式にて「補助対象経費」として計上する経費と一致させてください。
- ※4：法人は直近の損益計算書、個人事業主は直近の確定申告書又は所得税青色申告決算書の売上を記載してください。
- ※5：事業計画書は原則2ページ以内とし、申請事業についてのみ記載してください。